

【暮らす】施策の柱22

①予算事業名	アーサ虫(クロナカカ)防除確立研究調査事業	予算科目	4-1-3-6			基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	安全な社会環境づくり
	環境保全課		事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所		安心して暮らせる島づくり
②担当部課名	環境保全課		事業実施(予定)年度	H30~H32		基本計画の該当箇所	施策の柱22-6
③事業内容	アーサ虫(ヌカカ類)防除確立研究調査で、幼虫・さなぎの発生源を特定するとともに、防除を確立するため継続的に行う事業。平成29年度は砂浜掘り起し調査をとらっ捕獲で調査したが発見に至らなかったが継続調査が必要。薬剤散布は地域・時間を選定して実施した。効果が表れたので引き続き地域・時間を拡大して実施する。						
④実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
⑤事業費 【単位:円】			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費					
		(c)地方債等					
		(d)一般財源	1,469,000	5,483,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
計(a~d)		1,469,000	5,483,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	
特定財源名		(a)または(b)の名称			(c)の名称		
⑥事業計画	年度		実施する具体的な事業の内容				
	平成30年度		アーサ虫(ヌカカ類)防除確立研究調査で、幼虫・さなぎの発生源を特定するとともに、防除を確立するため継続的に行う。効果的な防除薬品効果実験も同時に行う。継続的な捕獲調査。				
	平成31年度		アーサ虫(ヌカカ類)防除確立研究調査で、幼虫・さなぎの発生源を特定するとともに、防除を確立するため継続的に行う。効果的な防除薬品効果実験も同時に行う。継続的な捕獲調査。				
	平成32年度		アーサ虫(ヌカカ類)防除確立研究調査で、幼虫・さなぎの発生源を特定するとともに、防除を確立するため継続的に行う。効果的な防除薬品効果実験も同時に行う。継続的な捕獲調査。				
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	目標		()	()	()	()	()
	実績		数匹発見				
	目標		()	()	()	()	()
	実績						
事業効果等	今年度は地中(波打ち際)30cmくらいを掘り起し調査をする新たな方法も取り入れた事業も図られている。数年間生殖調査を実施しているが今だ特定されていない、引き続き地道に調査を続けることが重要・課題である。同時に防除薬品効果調査も行う。						
⑧写真及び図面							